

**第1問** 総合。テーマは名前。個人的に得意な分野なので、逆に難易度がちょっと分からない。メモは使っているが、会話文がリードなので旧センター試験に近い。

- ▼問1 ア：メモの中に姓の例として「平」があり、問題文に「正式」とあるから「北条」は苗字と分かる。  
イ：華族は明治時代になって設置されたもので「撤廃」はおかしい。これは気づかないかもしれない。  
☆なお、苗字帯刀は許されなかつただけ、は授業で話した通り。
- 問2 X：源義仲は木曾義仲。木曾は信濃国の地名。従兄弟とは義経。ややマイナー。大河に合わせたか？  
Y：前半だけなら新田でも当てはまるが、室町幕府から東国支配を任された＝鎌倉公方だから足利。
- 問3 Iの近松門左衛門は元禄文化、IIの江川太郎左衛門は江戸後期に活躍、IIIの三浦按針は江戸初期。よって、III→I→IIとなる。☆12月最後の授業で江川まで話しておいて、よかった。
- ▼問4 a b：会話文にある「養育氏族から良い意味を持つ漢字」は、和風(伝統)から唐風へとと言える。実は、これは、嵯峨の時代(弘仁期)の文化の特徴でもある。c d：源氏は貴族(臣下)である。また兄弟で同じ漢字を使うことで兄弟であることは分かりやすいが、皇位継承の順序は示せない。
- ▼問5 X：太平洋戦争開戦が1941年で、42年～45年は1位が「勝」(「勝利」もある)から正文。  
Y：1926年が昭和元年で、翌27・28年に「昭」「和」の字が上位に見られるから正文。  
☆直前授業で言った「XY正誤で〇〇の①は躊躇しがち」が最初から登場しました。
- ▼問6 aの判断はやや難しいが、bが明白に誤文(会話文に出てきた北条政子が典型的な例)。cは正文であり、dは民法が保守的だったこと、明治中期で啓蒙思想としては時期が遅いので誤文と言える。

**第2問** 古代の法制がテーマの問題。なお、考古は皆無だった。

- 問1 ①地図倭王武の遣使は5世紀なので100年空いている。②曇徴は高句麗僧なので「帰国」ではない。  
③冠位十二階や憲法十七条はこの後。④まだ律令はできていない。これは702年の遣唐使の説明。
- 問2 Xは8世紀で、a(真言宗)は9世紀以降。Yは9世紀で、c(浄土教)は10世紀以降。  
2問とも時期がポイントの正誤判断であるところに、共通テストの特徴を現れている。
- ▼問3 計帳そのものではなくその手実(申告書)を使っているので分かりにくい。  
a：史料ほぼ中央に「課口一人」とある(意味は注で分かる)し、人名を拾っても、47歳男の伊賀麻呂のみが庸調負担だから誤文。b：計帳は毎年作成だから正文。c：削除されていない。
- ▼問4 憲法十七条・養老令・延喜式という指定があるので、そこから考える。史料だけで順序は無理。  
IIは史料を知らなくても、「国造」があるので律令制前＝憲法十七条と判断できる。IIIは「令条の期の後」とあるので、令を補足する式であると判断できる。よってII→I→III。
- 問5 ①養老令以降には律令がないから「代替わりごと」ではない。

**第3問** 中世の交通史。ここでも会話文。ただし調べ学習的な要素はゼロ。

- 問1 ①ヨーロッパとの関係は近世ではないかとも思うが、会話文の中で取り上げられているので中世として考えてよい。④倭寇を国家権力が(禁圧が甘かったことはあっても)保護した話はない。
- 問2 I(石山合戦)は信長期、II(重源の東大寺再建)は源平内乱期、III(平忠盛)は院政期。III→II→I。
- 問3 図は馬借であり、X・Yともに正文。☆「XY正誤で〇〇の①は躊躇しがち」再び。
- 問4 朝鮮側の視点で述べていることに注意しないと、a・bで間違えてしまうという良問。  
a b：史料には、日本は銀をもたらし、朝鮮は綿布と交換していると書いている。  
c d：「利は彼に属し、我れ其の弊を受く」「後来の齎す所、必ずや此れに倍せん」とある。

- 問5 X：「和人」という表現から蝦夷地（a）であることが推測できる。  
Y：元寇の現場であることから、北九州（c）でありdは外れることを判断できる。

#### 第4問 近世史の身分制度に関する問題。

- 問1 ③町政の運営は家持商人しか参加できないので、「総意」とは言えないだろう。☆江戸時代の町政について丁寧に説明したので、ここは正解してほしい。
- 問2 I（写楽）は江戸後期、II（阿国歌舞伎）は桃山、III（初代市川団十郎）は元禄文化。II→III→I。
- 問3 去年はなかった複数史料問題。X：史料1には「不承知の村」「遅参の村」への制裁が記されている。  
Y：史料2は天明。世直し一揆は幕末。また米屋や豪商を襲っているのでは、一揆ではなく打ちこわし。
- 問4 a：「場末の町家」から出て「無宿」になってから「物貰い」になっている。  
c：1836年なので、時期がc（寛政改革）ではなくd（天保改革）。
- 問5 ②③④はいずれも高校生には判断が難しいが、①が明白に正文（旗本と御家人の違い）である。

#### 第5問 昨年復活した近代人物シリーズは続かず。またもや会話文と調べ学習。

- △問1 単純な知識問題。特に解説は不要だろう。
- 問2 a：「交易するを許せるすべての場所」なので場所の制限はある。b：「他国の臣民に許せし…両国の臣民にも許せし」とある（最恵国待遇）。c：琉球漂流民殺害事件とその結果起こった台湾出兵は、この条約以後のことである。dは正文。
- ▼問3 1885年の天津条約（I）のあと、日本は朝鮮への圧力を強め、防毅令事件（II）が起こった。日清戦争の直前（1894年）に、イギリスは治外法権撤廃（III）に応じた。かなり細かいが一連の流れであり、「1895年から1894年」という条件設定があるので、防毅令事件の年代を覚えていなくても両者の間にあたるはず、という推測は可能。でもまあ、難しい。
- 問4 再び複数の史料による読解問題。X：「欧州式農法を実習し」とあり、逆にハワイから学ぼうとした。  
Y：「内国に於いては…困難にら迫るる」までに書かていることと合致する。

#### 第6問 テーマは鉄道史。そう言えば今年も鉄道開通150年だった。

- △問1 基本的で単純な用語補充問題。解説不要だろう。石油は戦後。
- △問2 a b：同じ年だが時刻表は9月10日からで、太陽暦採用は11月9日と書かれている。c：電気が動力源になるのは大正以降。d：「発車時刻を遅らせないために」とある。
- 問3 ①日本鉄道会社は官営事業払い下げではない。
- 問4 I（張作霖爆殺）は昭和、II（満鉄設立）は明治、III（西原借款）は大正。II→III→I。
- △問5 写真からaは買い出しだと分かるし、bは有名な松川事件の写真なので知識で答えられる。また「戦後10年」という条件から、b（昭和恐慌）やc（高度成長）は期間に収まらないと判断もできる。
- 問6 ①1975～80年で減少している。②様東京五輪（1965）までに、新幹線は開通しているが高速道路は翌年以降である。③第一次石油危機（1973）を含む1975～80年で、増加している。
- 問8 XY：「戦後政治の総決算」は中曽根康弘の言葉で、それには電電公社・国鉄に民主化も含まれていた。小泉内閣は郵政民営化で知られている。

---

複数の史料による思考問題があったり、時期による正誤判断が多かったりと好印象な面もありますが、一方で歴史的意義を問う問題が消滅しました。いわば「資料多めのセンター試験」。

△（平易）が4問、▼（やや難）が7問なので-3ポイント。平均6.2点と予想します。